



平成 28 年 12 月 28 日 第 6 巻 (第 8・第 9 合併号)

発行：東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル 2F

災害支援チーム TEL (03)3351-5038

FAX (03)5366-1058

Mail: dsstsw@jaswhs.or.jp

もくじ

1. 石巻市立病院のいま
2. 活動報告書
3. 第 2 回いしのまき復興マラソンに参加して
4. 災害支援チームからのお知らせ
5. 災害支援ニュース発行のお知らせ
6. あとがき

大切なお知らせがあります

詳細は“4. 災害支援チームからのお知らせ”をご覧ください。

1. 石巻市立病院のいま

元災害支援チーム

宮城県 松川夏美



今年9月1日に、たくさんのご支援をいただいて、石巻駅前に石巻市立病院が再建しました。180床の病床をもち、『市民に愛される病院 市民に信頼され 市民が満足する 質の高い医療の提供』を理念に、スタッフ一同で力をあわせ日々奮闘しています。

開院から3ヶ月が経ち、再建を待っていたという温かい声をいただくことも多く、また身寄りのない方や、かかりつけ医がなく介護保険サービスにつなぐのが難しかった方などについて、地域の関係機関からの相談が増えてきました。震災の影響もあってか、家族と音信不通であったり、身寄りがいない方や地域でのサポート体制が希薄な方も多く、院内はもちろん、地域の関係機関や市役所などと検討しながら、対応しています。市立病院だからこそ、なかなか民間病院での受け入れが難しい方も対応していく必要があること、また“困難ケース”になりがちな方をどのように地域の関係機関とともにサポートしていけるのかを考えていく必要があるのだと感じています。

震災から5年9か月が過ぎ、石巻の街並みも変わってきています。石巻駅前に当院が再建できたことも“復興のシンボル”のひとつだと思います。住民、地域から期待されている役割を感じながら、約2年間、災害支援チーム石巻現地で学んだことを、生かしていきたいと思っています。



2. 活動報告書

仙台循環器病センター

宮城県 長谷川 敦

活動期間：2016年11月21日



午前 定例 石巻 男のあそぼう会 午後 活動ふりかえり

今回は、午前 蛇田地域コミュニティセンターにて、卓球とナラティブケアに近い、参加者より、石巻のストーリーを語る会でした。

今年度の私の参加が久しぶりであり、春以来の参加になりましたが、参加されたメンバーはあまり変わり

なく、いつもの雰囲気スタートしております。現地石巻のメンバーも今年度はスタッフの変更もあり、新たな企画で、向う前に想像していた、心配していたこともすぐに解消されるような導入でした。地域センターでの活動で、地域の住民も最初の一部では、卓球活動の会と勘違いをして参加される方もいて、普段と違う交流にもなったような気がします。年々参加者の加齢を感じるころもありますが、まだまだお元気な方がほとんどですね。まもなく訪れる季節の暖房の心配・最近通い始めたリハビリデイのお話し等、参加者の1ヶ月間の想い想いの話に華がいつもように咲いていました。卓球もやってみれば楽しいもの・・・ゲームとしては、参加者と支援者個人。参加者と支援者ペアで対戦と現地石巻のスタッフの企画と導入が素晴らしかったと感じております。

語る会でも、普段の想いを話されたので参加者一同熱心に耳を傾けておりました。

そして、いつもの250円弁当・・・変わらぬおいしさがあります。



3. 第2回「いしのまき復興マラソン」に参加して

災害支援チーム

石巻現地担当 菊田 駿

復興のためのマラソン。それが「いしのまき復興マラソン」ですが、何よりも石巻市が“今どういう状態なのか”を一人でも多くの人に見てもらいたいといった想いのこもった大会だったと思います。

ランナーは思い思いにゴールを目指し、全国から1700人、被災地を疾走しました。前日には、リオデジャネイロ五輪陸上男子400mリレーで銀メダルを獲得した飯塚翔太選手らが子どもたちを対象にスポーツ教室を開き、イベントを盛り上げていました。

種目は2km、3km、5km、10km、ハーフマラソンですが、2kmは小学生、3kmは中学生のみのエントリーになっていました。コースは大きなアップダウンもなく、とても走りやすいコースになっていました。走りやすいコースと言いながら、私は前回の記録よりも4分遅い結果になってしまいました・・・。

石巻専修大学をスタートし仮設住宅が立ち並び、開成エリアを通過し真野川沿いを行き、スタート地点の石巻専修大学へと戻ってくるコースになっていました。個人的には、仮設住宅から復興公営住宅へと抜けるコースであれば、遠方からの参加者もいたため、復興に向けての歩みを感じてもらえたのではないかと思います。



そして、テレビ中継でやっているマラソンのような途切れのない声援ではなかったのですが、それでも地元の人たちの声援はグッとくるものがありました。

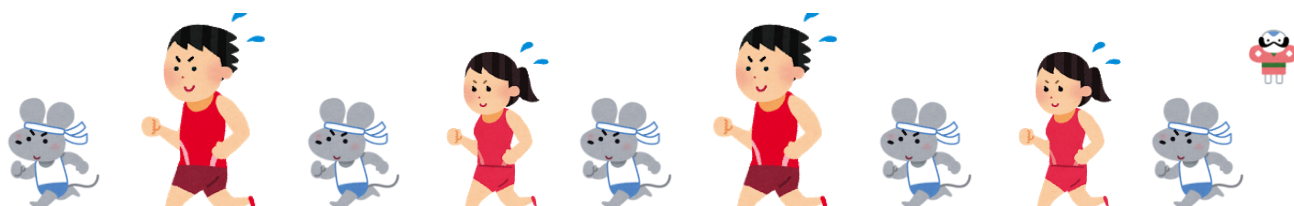
その中で印象に残ったことが2つあります。それは、ある光景と、ある一人のランナーの姿です。

ある光景とは、スタートして間もない2km地点の開成の仮設住宅が立ち並ぶところで、小学生か中学生の少女三人が「祝 第2回いしのみき復興マラソン・復興支援に感謝、頑張れ」と書かれた横断幕を掲げ、ランナーたちを応援する姿を見たことです。石巻の復興のためのマラソンであり石巻のためと思い参加をしましたが、その横断幕を見た時に応援はもちろんですが、励まされていると不思議な気持ちになりました。そして、復興のために支援をする側、される側という区別はないと思いました。お互いの助け合いの精神が大切なのだと強く感じた光景でした。

一人のランナーとは、折り返し地点の10kmを過ぎた頃のことでした。大きな声が聞こえ沿道の人からも明るい笑い声が聞こえてきました。少しペースを上げそのランナーに追いつくことが出来、様子を見ていると、一人ひとりの沿道の人に「がんばろう!!」と声をかけハイタッチをしていたのでした。そのランナーの横につき話を伺うと「応援してくれている人、全員とハイタッチをして元気をあげたいし、もらいたい」と話をしてくれました。そのランナーと沿道の人たちも、正にお互いで励まし合っているのだと強く感じる事が出来ました。

「がんばれ」「ありがとう」「一緒にがんばろう」と応援してくれた皆さん、参加して良かったです。こちらこそ、ありがとうございました。

※12月4日(日)に宮城県登米市で行われたカップハーフマラソンに参加し自己ベストを4分更新することが出来ました。記録1時間59分。目標でもあった2時間を切ることも達成することが出来ました。



4. 災害支援チームからのお知らせ



【1. 大切なお知らせ】



11月8日災害支援チーム会議において

協力員募集終了

と決まりました

2011年3月11日の発災以来6年間にわたり
石巻をはじめ、近隣の被災地において

ご支援ご協力をいただきましたみなさま

心より感謝申し上げます



【2. 災害支援チーム会議開催のお知らせ】

次回会議日程

1月17日（火）予定

時間＝19：00～21：00 場所＝於協会会議室

【3. 書籍販売】

『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅠ』、
『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅡ』、
『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅢ』の

販売を行っています！

発災から 2011 年 9 月 30 日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録を『バトンⅠ』に、2011 年 10 月から 2012 年 12 月までの災害対策本部、石巻市での仮設住宅支援・在宅被災世帯支援・市民活動支援、現地 SW との協働の記録を『バトンⅡ』に、2013 年 1 月から 2014 年 3 月までの災害支援チーム、石巻市での仮設住宅支援・在宅被災世帯支援・市民活動支援、虐待防止センターでの支援・石巻市社会福祉協議会での支援、現地 SW との協働の記録を『バトンⅢ』にまとめました。



尚、売り上げの全額を皆様からの寄付として、本活動の資金にあてさせていただきます。

※ご注文は注文用紙で承ります。

(注文用紙はホームページからダウンロードできます)

バトンⅠ:URL: http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=45

バトンⅡ:URL: http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=47

バトンⅢ:URL: http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=54

【4. facebook】



facebook でも情報をお伝えしています。現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。応援よろしくお願いたします。

URL
<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

【5.YouTube】

現地での災害支援活動の様子を前事務所担当の一原さんが VTR にまとめて下さいました。YouTube にアップしましたので、是非ご覧ください。「医療ソーシャルワーカー災害支援」で検索すると見つかります。



URL

<http://www.youtube.com/watch?v=vn34I9h5rJ4&feature=youtu.be>

5. 災害支援ニュース発行のお知らせ

.....

次回発行予定 1月下旬

6. あとがき

.....

災害支援チーム事務局から

編集担当 西田

2016年も余すところあとわずかになりました。私にとって今年の大きな出来事といえば、昨年まで石巻で行っていたグループワークの主催を日本協会からユースサポートカレッジ石巻NOTEに移し、協会はサポート的立場になったことです。NOTEの職員の方と石巻サポートチームのFさん、そしてNOTEに登録しているメンバーの方々とのグループワークです。5月、NOTEでの第一回目のグループにドキドキしながら私は参加しました。思いがけずメンバーさんは活発に発言し、むしろ私が話についていけず、困ったなと思っていたら、NOTEのOさんが参加メンバーさんの個別面接をしてくれ、メンバーさんの気持ちを確認、「就労する気持ちにはまだならない」という方にはグループの参加を遠慮してもらい、就労を目指すメンバーが集まることになりました。その後グループは就労の体験を通しての様々な恐

怖心、不安感、緊張感、逆に嬉しかったりほっとしたりの思いが語られるようになりました。「そういう時はこうしたらいいよ」という発言がメンバーさん同士で交わされるようになっていきました。今年度始まる前から、グループに関心を寄せ心を砕いてくれたNOTEのOさんは、残念なことに夏に異動になられたのですが、別のスタッフが数名で引き継いでくれています。石巻NOTEに、もしグループワークが根付いてくれたらこんなに嬉しいことはありません。



東日本大震災 MSW 災害支援ニュース
平成28年12月28日第6巻(第8・第9合併号)
作成 日本医療社会福祉協会
災害支援チーム事務局